



田村 和香氏
メデュカパス 校長 英語講師

東京女子大学文理学部英米文学科卒、元両国予備校講師
受験予備校の講師歴24年間のうち14年間に両国予備校の講師として、偏差値50前後で入学した受験生を、それぞれの志望大学に多数合格させてきた。受験生をより良き方向へと導くことを一生の仕事として、受験指導に情熱を注いでいる。

学校のそばで生活できるので、先生や受験生同士とのコミュニケーションも密接に取れますし、食事とか静かに勉強できる環境が整っている寮に入ったほうが、より効果的に成果が上がると思ったからです。

田村 私どもでは毎週親御様に、生徒さんの成績結果や授業の出欠状況だけでなく、食事をきちんととっているかどうか、日常生活の状況まで細かく報告しています。

また、親御様からのご相談にもその都度丁寧に対応し、常にきめ細かいサポートを行っています。

藤川さんは、いつもその報告をご覧いただき、ご心配な点があるとその都度ご連絡をいただいております。

また、食事や学力向上につながる大事な時間と考え、集団コースを受講する生徒さんは全て学生食堂を利用していただき、栄養バランスの取れた朝食と夕食を規則正しくとって頂いています。

地方の方に限らず、都内の生徒さんで寮に入られている人もいます。

藤川氏 寮といっても一人暮らしですから、メンタルが崩れていないかということには常に神経を使っていました。

受験生は常に精神的にとっても不安定な状態だと思います。試験が近づいてくると特に情緒不安定になりがちです。

大手予備校に通っていた時には、きめ細かいフォローは全くありませんでしたから、メデュカパスから届く報告は親として大変助かりました。

時には、気になることがあると深夜に高速道路を使い、寮まで様子を見に行ったことが何度もありました。

受験生にとっては、些細なことであっても周囲がどれだけ寄り添ってあげられるかが、とても大切だと思います。

良好な人間関係も 大きな力となりました。

田村 風声さんからは、先生だけでなく

く事務の人たちまで、生徒に関わる人たち全ての人の面倒見がとても良く、自分にとって、とても良い環境で予備校生活を過ごせたと、お聞きしました。

藤川氏 今でもとても感謝していますね。

医学部予備校でも、先生たちとの信頼関係や、そこでの友達関係は大切で、良い先生や良い友達との出会いが人間形成に大きく影響を及ぼすと思います。

風声は、人間関係や周囲をじつと洞察するタイプで、思慮深い性格です。どちらかと言えば人に優しくすぎるくらいで、人間関係をとても大切にしています。

ですから先生や仲間だけでなく、食事を作ってくれるスタッフさんたちとも親しくなっていたようです。

風声にとっての課題だった、持久力とここ一番での瞬発力が身に付いたのも、メデュカパスで先生との信頼関係と周囲との良好な人間関係の中で学べたことによる影響が大きかったと思います。

田村 生徒さんの多くは不安を抱えています。元気づけ、勇気づける勉強環境を提供することも受験予備校にとって非常に大切なことだと思っています。在学中の風声さんは、職員室で一番多く見かける生徒さんでした。

特に数学の先生が大好きで、勉強の相談だけでなく、隣に座って楽しそうに雑談している姿をよく目にしました。校内では、親切で面倒見が良く、多くの友達から慕われていました。人に

教えてあげることがとても上手な生徒さんだったことも強く印象に残っています。

両国予備校の伝統を受け継ぐ メデュカパスには、 多くの卒業した生徒さんが、 帰ってきてくれます。

田村 嬉しいことに、事あるごとに多くの卒業生が帰ってきてくれます。

研修医で多忙な中、近況を報告しに来てくれたり、在校生へのアドバイスのために遠方から来てくれる卒業生もいます。それは私たちにとても嬉しいことです。

風声さんもそんな卒業生のお一人です。以前、受験生向けのイベントを行った時に、先輩として参加してくれたことがありました。

その時はイベントの最初から最後まで来訪者のいろいろな相談に乗って頂き、風声さんのコーナーが受験生やご父兄から一番人気があったことを覚えています。

藤川氏 実は私も現役の時に、当時の両国予備校でお世話になりました。

当時から少人数で、学力に合わせて基礎の積み重ねを大切にしてくれる予備校でした。

私は通学生でしたが、寮生の方から気軽に声をかけてもらったりして、アットホームな雰囲気がありました。

田村 ありがとうございます。

今でも昔の両国予備校卒業の医師の方々から、お世話になった当時の寮母さんの消息とか、当時使っていた教材